

【大腿骨頸部骨折患者に対する地域連携パス使用率】

※DPC退院患者データより算出

分子：「地域連携診療計画加算」を算定した患者数

分母：大腿骨頸部骨折で入院し、大腿骨頸部の手術を受けた患者数

評価：より高い値が望ましい

地域連携パスとは？

質の高い医療を効率的、かつ安全、適切に提供するために計画書を作成し、治療を受ける全ての医療機関で情報共有して用いるものです。

2020年度													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
地域連携パス	1	1	2	0	0	0	6	3	3	3	3	6	28
大腿骨頸部の手術を受けた患者数	3	2	3	3	1	0	10	5	6	4	5	10	52
率 (%)	33.3	50.0	66.7	0.0	0.0	-	60.0	60.0	50.0	75.0	60.0	60.0	53.8
2021年度													
地域連携パス	2	1	2	3	1	0	4	1	5	1	5	5	30
大腿骨頸部の手術を受けた患者数	5	3	5	5	2	2	5	1	6	4	6	7	51
率 (%)	40.0	33.3	40.0	-	-	-	80.0	100.0	83.3	25.0	83.3	71.4	58.8
2022年度													
地域連携パス	2	4	3	1	2	1	5	5	7	1	8	3	42
大腿骨頸部の手術を受けた患者数	6	6	5	3	4	2	7	6	10	4	11	15	79
率 (%)	33.3	66.7	60.0	33.3	50.0	-	71.4	83.3	70.0	25.0	72.7	20.0	53.2

地域連携パス使用率（大腿骨頸部骨折患者）

